

「中学生がずっと音楽が好きでいるために」を目指して地域で支える活動へ

「中学に吹奏楽部がない」けれど「楽器をやってみたい」と昨年、ワークショップへ申し込んでくれた さん（泉南中3年）今年はトランペットで参加



今年は念願のトランペットで参加

さんにインタビュー

去年はまずパーカッションパートでと勧められました。今年はやりたかったトランペットで参加でき、毎回難しいなあと思いつつながら同時にやりがいと楽しさを感じています。学校には吹奏楽部がなく、自宅でも音を出す練習時間はなかなか作れない状況です。自分が出来ていないところはわかっているので、学校に放課後、音楽室を使わせてくださいとお願いして自主練をする時間を確保しています。最近、コロナ感染が再び増え、音楽室を使わせてもらうことも厳しくなっています。でも、もうリハーサルのみしかありません、あと数日、なんとか練習時間を増やして、いい合奏にしたいです。



昨年初参加したときの様子

23の杉並区立中学のうち3校は吹奏楽部がありません。部員数の減少で各楽器のパートが揃わず合奏が難しくなっている学校もあります。このワークショップでは「楽器をやってみたい」や「音楽が好き」と思う子どもたちを応援したと思っています。やりたい！を大切に経験の場の提供とプロとの出会いや指導、地域力でアイデアを出し合いながら活動していきます。生涯、音楽が好きでいてほしいと願っています。そして、このワークショップに関わった大人たちみんなが本番の演奏を楽しみにしています。応援しています。

ワークショップの様子を公開しました



練習法・吹奏楽との向き合い方
中学生同士の学び合い

この日は、練習の様子をワークショップに参加している生徒の保護者の皆さんにも公開しました。

また、会場校の高円寺学園中吹奏楽部の皆さんにも見学していただきました。

学校を超えて大人数でこのようなワークショップを展開するには、会場確保が大きな壁となります。今回、天沼中学と高円寺学園の2校にご協力をいただきました。この日、午前の部活を終えた高円寺学園中の吹奏楽部の皆さんも多数見学参加。プロの音を間近で聞き、他校で同じ楽器を担当する仲間とも出会いました。椅子を横に並べ「この方法の練習はいつもやっているのですか?」「部活では何時間くらい練習していますか?」などメモを取りながら様々なことを見聞き、吸収していました。



出来ました

本番、ステージで着用するTシャツ3色



缶バッジはスタッフ手作りで!



NPO法人
すぎなみ
子ども
サポート

文責：企画運営 すぎなみ子どもサポート